

製造業

- ◇パン…学校給食パンの場合はクリームが多い時期である。十分に気を付け対策を実施しているが、入梅時は温度も湿度も上がり、イースト菌の臭いに誘われフルーツ虫や小さなショウジョウバエが寄ってくる。人体に害の無いよう対応し、衛生面の費用は非常に大きい。子供達の安心安全を常に心に置き、組合員一同頑張っている所である。
- ◇酒…5月の課税移出数量は前年比90.4%と落ち込んでいる。焼酎においても5月課税移出数量は前年比89.1%と大きな落ち込みとなった。この要因として、消費税増税・燃料等の高騰等が、嗜好品である酒類の消費意欲を低下させたと考えられる。4月の国内酒類消費支出金額は1世帯当たり2,650円で、前年同月比81.2%と大幅に減少したことにも表れている。しかし、輸出については今年度も国際空港における試飲販売を継続実施。また、当県酒蔵の製造技術力の向上により、全国新酒鑑評会において入賞蔵14社、内金賞受賞11社と好成績を収めた。
- ◇納豆…中小零細企業の経営が急激に悪化している。それでも、スーパー向けより土産品中心に営業している企業は何とか踏ん張っている。業界として値上げをしたいところだが、同業者同士がらみ合っている状況で、価格はそのままのメーカーがほとんどである。一部、取引停止覚悟で値上げに踏み切るメーカーもあるが、それだけ厳しい環境になってきていると感じる。
- ◇菓子…6月は昨年に比べると低調に推移。売上、収益ともに前年同月比で減少、資金繰りは厳しい。卸売は、ガソリンの値上げにより収益が悪化。
- ◇繊維製品(袋物)…先月が落ち込んだ分、持ち直した感がある。実習生が4、5月で10数人帰国した穴を埋めきれしていない。仕事量と雇用人員のバランスが今後の課題と考えられる。
- ◇木材…駆け込み需要の反動減から、市況は停滞感が強まっている。プレカット関係の落ち込みが目につく。販売店の仕入れも当用買い傾向となっている。一方、国産材丸太が高値維持、原木高・製品安の状態になっており製材所は対応に苦慮しているようだ。
- ◇プレカット…消費税増税の影響は想像よりは少ないが、対前年同月比では20%位減少している。
- ◇段ボール…6月に入ってから売上は上がらず、前年並みか、前年よりも少し売上が足りないところが見受けられた。消費税の関係で売上が鈍化して2ヶ月、そろそろ売上増に転じて欲しいところではある。明るい兆しも見えてきたので、今後に期待したい。

- ◇総合印刷…販売価格の下落、原材料の高騰等により、景況が悪化したと感じている組合員が多い。
- ◇プラスチック製品…4～6月は自動車関連の仕事が少なかったが、7月以降は上向きになる予測である。
- ◇焼物…東日本大震災の影響は、ほぼ解消されたと感じているが、本来戻るべき景気が地方では感じることが出来ない。消費税増税の影響も少しはあるかもしれない。今後夏期を迎え消費が落ちるが、少しでも落ち込み幅を少なくしていければと思う。
- ◇鍍金…6月の受注は前年並みであったが、収益状況は前年比5～10%減であり良くなかった。前年好調だった建築関係も減少傾向。押し並べて好調な業種は少なく、自動車・建機・家電関係の仕事も低調だった。消費税増税の影響は4、5月にはあったものの、今月に入って落ち着いてきた感じになった。燃料・電気料金の高騰は、収益性にも悪影響を及ぼしている。鍍金加工単価、原材料とも前年同程度である。
- ◇重電…4月以降、作業量が一部(電力部門)増加傾向にある。
- ◇電化機器…当月生産高は、対前年同月比△12.9%となる728百万円。家電、自動車関連の両部門共に対前年同月比でマイナスの状況(第1四半期中の各月が同様な状況)となったが、前月と比較すると家電・自動車関連が共に増加、総合で8.6%増加した。
- ◇自動車部品…売上高は総合で見ればやや上向きつつあるが、企業間で格差が目立つ。
- ◇工業団地(農機部品)…組合員の売上状況は対前年同月比で組合員7社中5社が増加、2社が減少(全体増減率92%)。団地売上の40～50%強を占める1社が大幅ダウンとなっているため、このような状況。得意先の生産計画による影響である事は間違いないが、得意先製品群の市場動向や消費税増税の影響等によるものなのかは不明状態。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメントの出荷袋数は前年同月比4%の減少。建設工事の減少から袋の需要も減少傾向にある。
- ◇水産卸…精算所取扱高は、前年同月に比べ7.0%の増。冷蔵倉庫電気料金は、平成24年6月の値上前と比べ42%も上昇、収益を圧迫している。
- ◇食品卸売…野菜に関しては天候不良の影響で単位高、数量減。果実に関しては単位高、数量増。各地の大雨が今後の入荷量、単価にどのような影響を与えるのかが懸念される。
- ◇県北地区共同店舗…消費税増税後、初のボーナス商戦となったが、衣料を中心に増税後の反動減が

大きく氣息奄奄状態。

- ◇**県央地区共同店舗**…食料品、飲食の売上は戻ってきたが、衣料、雑貨系は天候の影響もあり、まだまだ厳しい。
- ◇**県南地区共同店舗**…先月は消費税増税の反動から若干回復したと思われたが、当月は4月期と同程度の落ち込みとなった。客数も減少しており先行きが懸念される。
- ◇**家電**…天候やテーマ商品の少なさ等から、各店ほぼ前年比60%~70%の成果となった。7、8月前半に期待したい。
- ◇**農機具**…駆け込み需要の反動で厳しい状況が続いている。7月以降、秋物商品に期待しているが、不安な見方が多い。
- ◇**中古自動車**…5月中旬からの出品減が6月に入っても続き、6月期では対前年8.9%の減少となっている。ディーラー出品台数も6月から大幅に減少し影響がある。しかし、成約率は依然高く、対前年プラス9.4%の伸びを示し、結果として手数料収入はプラスを維持している。
- ◇**石油**…原油価格は高値で推移。ガソリンの販売価格は昨年同月比で15円上昇しているが、元売販売子会社の新規オープンが2件あり、一般組合員の仕入価格を下回るような価格で販売したため、周辺に大きな影響を及ぼした。
- ◇**ホテル旅館**…観光関係ではイベント等も無かった為、集客は伸び悩んだ(常陸太田地区はバンジーの影響が客足が伸びた)。ビジネス関係は工事関係者で順調。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比普通車99.2%、軽自動車は102.4%と微増であった。
- ◇**総合建設**…公共工事の発注が始まった。逆に言えば4、5、6月は止まっていたということだ。この3ヶ月の会社経費をこれからの売上で回収しなければならぬ。しかし、予定価格は十分な利益を確保

出来るものではなく、さらに自由競争入札が行われる為、ますます収益状況は厳しいものとなっている。少額工事の一般競争入札は建設業の体力を奪っている。

- ◇**電気工事**…昨年度は組合への新規加入者が0件だったので、今年度4~9月に期間を限定し、加入金を半額にしてのキャンペーンを始めた結果、1件の加入があった。
- ◇**県北地区運輸**…顧客物量は、全体的に昨年を下回る出荷数量となっている。また、諸外国情勢により、燃料価格が値上状況となっており、収益を圧迫している。
- ◇**県央地区運輸**…暑い日が続き、飲料水(水・ビール)関係は良好。前半は全般において荷動きが悪かったが、後半はお中元配達も始まり、そこそこに動いている。軽油の値上がりが続く、収益が少なく苦しい経営状況が続いている。

H26.6月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0		
製造業	▲ 15.0	▲ 40.0	▲ 40.0		
卸売業	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0		
小売業(商店街を含む)	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6		
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0		
建設業	0.0	▲ 40.0	▲ 40.0		
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0		
全体	▲ 36.0	▲ 50.0	▲ 50.0		

【天気図の見方】 県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値

成長分野の「介護事業」参入は、今がチャンス!

9兆円から21兆円市場へ

不動産業、建設業、サービス業、製造業、運輸業、小売業など、幅広い業種が参入しています!

詳細

介護施設のフランチャイズ加盟で「経営革新」

- ・小規模介護施設の為、設備投資が少なくOK!
- ・利益率が高いため、黒字転換まで6ヶ月でOK!
- ・計画、申請から開業、黒字転換までをサポート!
- ・営業面、運営面、職員教育を強力バックアップ!

中小企業様の支援実績は、県内トップクラスの

500社以上!!!

お気軽にお問い合わせ下さい



MANAGEMENT CENTER

株式会社 マネジメントセンター

〒310-0836 水戸市元吉田町1041-4 サン・ビルディング4F

TEL 029-246-4671 FAX 029-246-4672

URL <http://www.isommc.com>

E-mail info@isommc.com